

# アンパンマンにみる修証義観

「アンパンマンのマーチ」

作詞：やなせたかし／作曲：三木たかし／編曲：大谷和夫／歌：ドリーミング

そうだ！嬉しいんだ生きる喜び  
たとえ胸の傷が痛んでも

何の為に生まれて 何をして生きるのか  
答えられないなんて そんなのは嫌だ！  
命を生きること 熱いところ燃える  
だから君は行くんだ微笑んで。

そうだ！嬉しいんだ生きる喜び  
たとえ胸の傷が痛んでも。

嗚呼アンパンマン優しい君は  
行け！皆の夢守る為

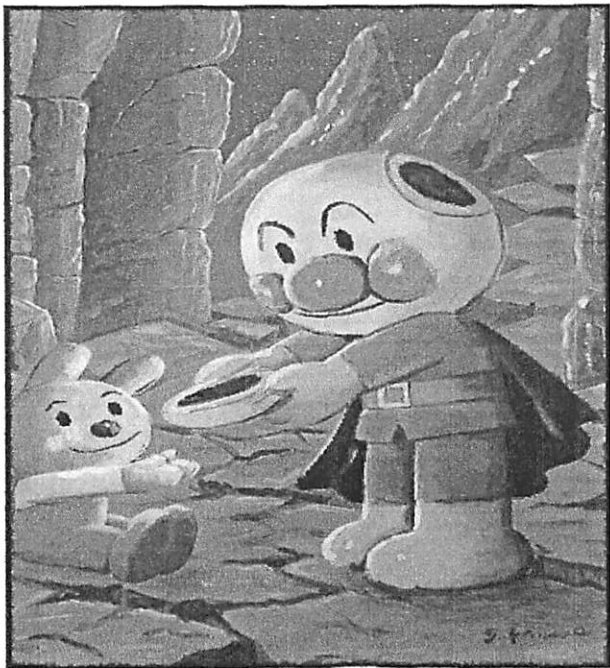
そうだ！恐れないうでみんなの為に  
愛と勇気だけが友達さ

嗚呼アンパンマン優しい君は  
行け！皆の夢守る為

時は早く過ぎる 光る星は消える  
だから君は行くんだ微笑んで

そうだ！嬉しいんだ生きる喜び  
たとえどんな敵が相手でも

嗚呼アンパンマン優しい君は  
行け！皆の夢守る為



平成二十五年一月二十二日（火）  
五泉市 永谷寺徒弟 吉原東玄

『♪何の為に生まれて何をして生きるのか』

○生を明らめ死を明きらむるは仏家一大事の因縁なり。

(意訳) 我々が生きていくことは、どういうことか、死とはどういうことか、その現実をはっきり見極めるのが仏教者として最も根本的問題である。

『♪たとえ胸の傷が痛んでも』

○菩提心を発(おこ)すというのは、己(おの)れ未だ度らざる前に一切衆生を度さんと発願し営むなり。

(意訳) ほとけ心に目覚めた生き方をするということは、自分本位の心を捨て、人のため世のため、生きとし生けるもの全てのものために尽くすという誓願をおこし、実践することである。

『♪愛と勇気だけが友達さ』

○愛語というのは、衆生を見るに、先ず慈愛の心を発(おこ)し、願愛の言語を施すなり。

(意訳) 愛語というのは、慈悲、慈愛の心をおこし、愛情豊かな親切な言葉をもって、全ての衆生(もの)に語りかけることである。

『♪今を生きること♪嬉しいんだ生きる喜び』

『♪時は早く過ぎる光る星は消える』

○光陰は矢よりも迅(すみや)かなり、身命は露よりも脆(もろ)し。何れの善巧(ぜんぎょう)方便ありてか過ぎにし一日を篋(か)び環(かえ)し得たる。

(意訳) 月日の過ぎゆくはまことに速やかであり、それは矢よりも早い。この月日の流れの中に生きていく私共のいのちは草の葉にやどる露よりもはかない。どのようなよき手だてを用いて見ても、過ぎ去りし日を呼びもどすことは出来ぬ。